

第12次労働災害防止推進計画の結果概要について

岐阜労働局

1 計画期間 平成25年度から平成29年度までの5か年。

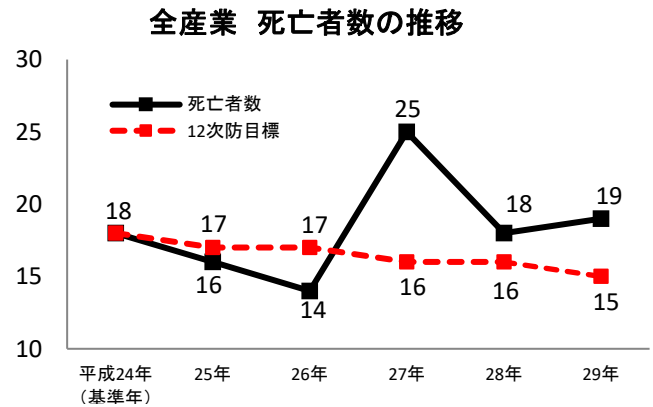
2 計画の基本目標の達成状況について

(1) 死亡災害

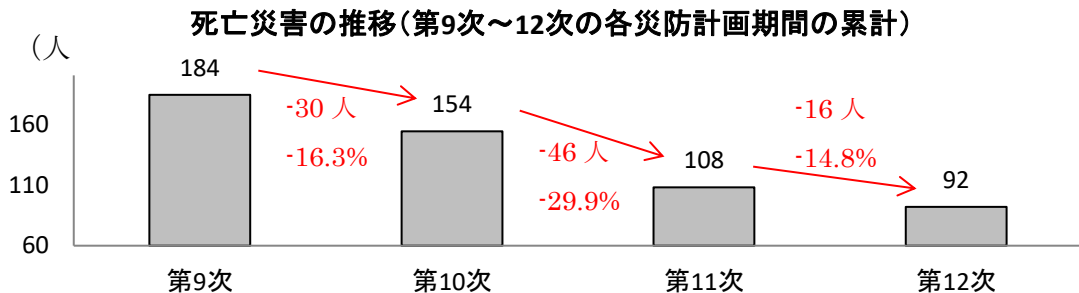
目標：平成29年において、平成24年と比較し15%以上減少させる。

※平成24年18人→平成29年15人以下

結果：平成29年において15人以下とする目標値に対し、目標値を4人上回る19人、平成24年と比較し1人増で、目標は未達成。



なお、死亡災害について、第9次から12次までの20年間にわたる災防計画期間ごとの累計の推移をみると、第9次の184人であった死亡災害が第12次では92人と半減となっている。また、第12次は、第11次と比較すると16人の減(-14.8%)となっており、累計では概ね達成している。



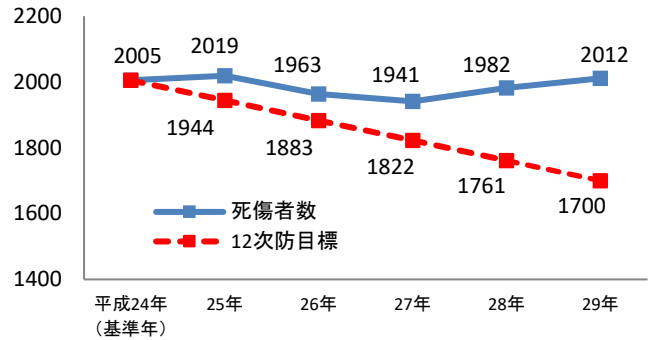
(2) 休業4日以上之死傷災害

目標：平成29年において、平成24年と比較し15%以上減少させる。

※平成24年 2005人→平成29年 1700人以下

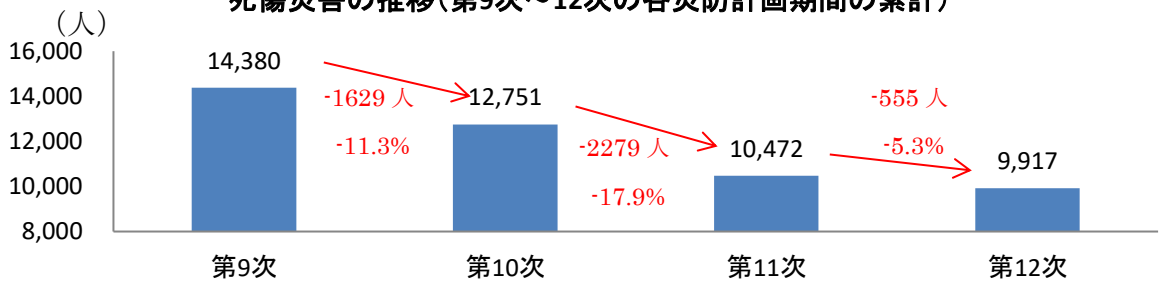
結果：平成29年は2012人となり、目標値1700人以下を大幅に超える結果となり、目標は未達成。

全産業 死傷者数の推移



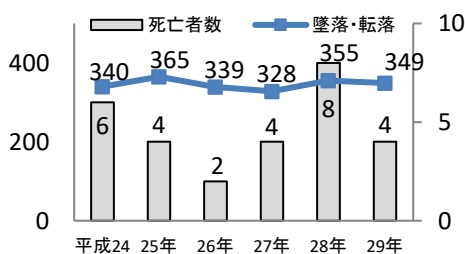
なお、死傷災害について、第9次から12次までの20年間にわたる災防計画期間ごとの累計の推移をみると、第9次の14,380人であった死傷者数が第12次では9,917人となり、4,463人の減少(31.0%減)となっている。また第11次と比較すると第12次は555人の減少(5.3%減)と減少幅が小さくなったものの、一定の成果が認められる。

死傷災害の推移(第9次~12次の各災防計画期間の累計)

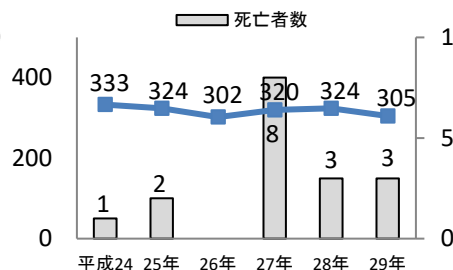


○主な「事故の型別」の労働災害発生の推移

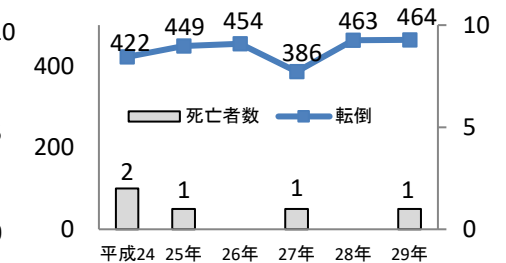
全産業「墜落・転落」



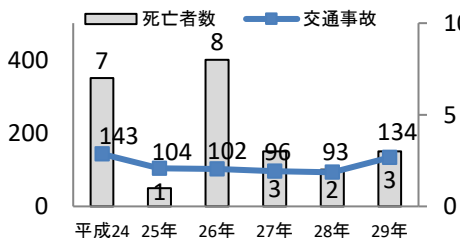
全産業「はさまれ・巻き込まれ」



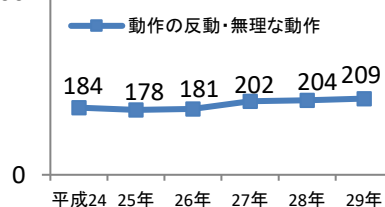
全産業「転倒」



全産業「交通事故」



全産業「動作の反動・無理な動作」



(3) 重点業種別の目標達成状況について

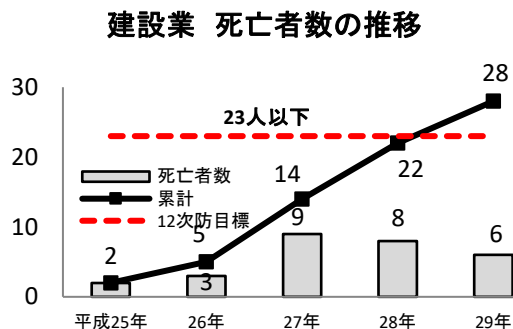
① 建設業

●死亡災害

目標： 第 11 次計画期間の累計人数と比較して、第 12 次計画期間の累計人数を 20%以上減少させる。

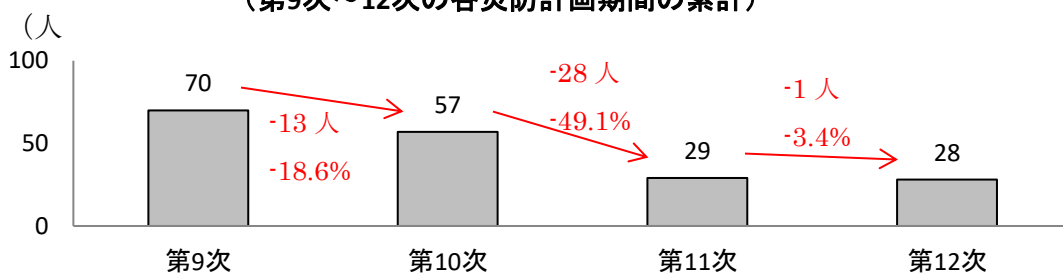
※第 11 次計画期間 29 人→第 12 次計画期間 23 人以下

結果： 第 12 次計画期間の目標値 23 人以下に対し 28 人、第 11 次計画期間の累計人数と比較し 3.4%の減少に留まり、目標は未達成。



なお、死亡災害について、第 9 次から 12 次までの 20 年間にわたる災防計画期間ごとの累計の推移をみると、第 9 次の 70 人であった死亡災害が第 12 次では 28 人と 60%減となっている。第 12 次は、第 11 次と比較すると 1 人の減 (-3.4%) という状況に終わり、さらなる死亡災害撲滅に向けた対応が必要である。

建設業に係る死亡災害の推移
(第9次～12次の各災防計画期間の累計)

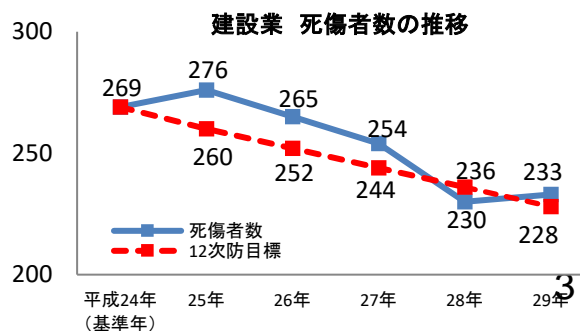


●死傷災害

目標：平成 29 年において、平成 24 年と比較し 15%以上減少させる。

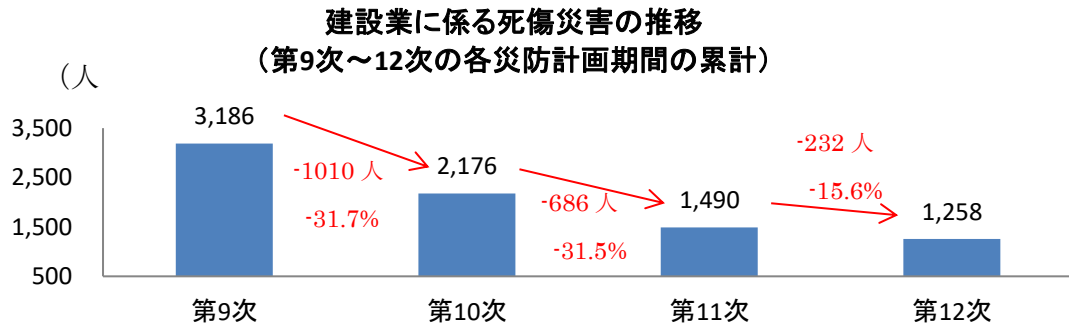
※平成 24 年 269 人→平成 29 年 228 人以下

結果：平成 29 年は 233 人となり平成 24 年と比較し 13.4%の減少となった。目標値を僅か 5

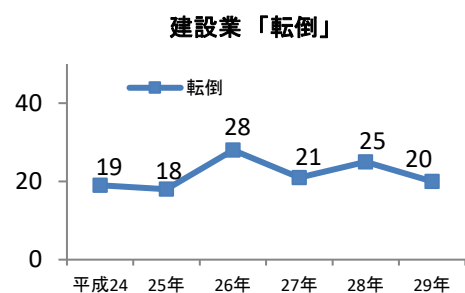
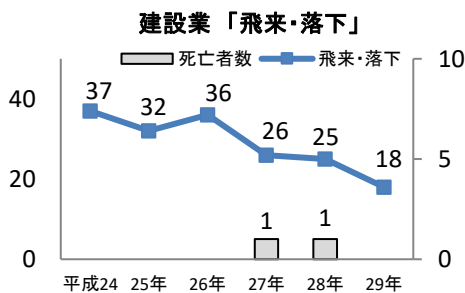
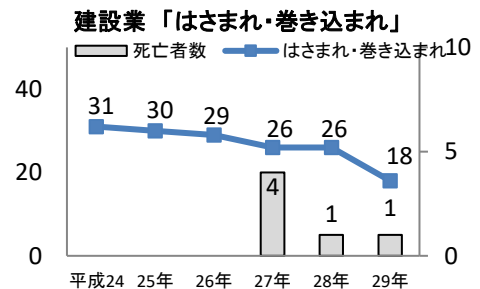
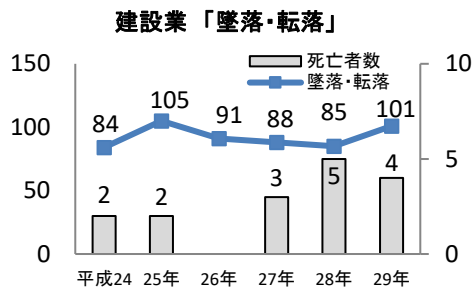


人超え、目標は未達成。

なお、死傷災害について、第9次から12次までの20年間にわたる防災計画期間ごとの累計の推移をみると、第9次の3,186人であった死傷者数が第12次では1,258人となり、1,928人の減少(60.5%減)と大幅な減少となっている。また第11次と比較すると第12次は232人の減少(15.6%減)となっており、累計では15%以上の減少を達成している。



○主な「事故の型別」の労働災害発生の推移



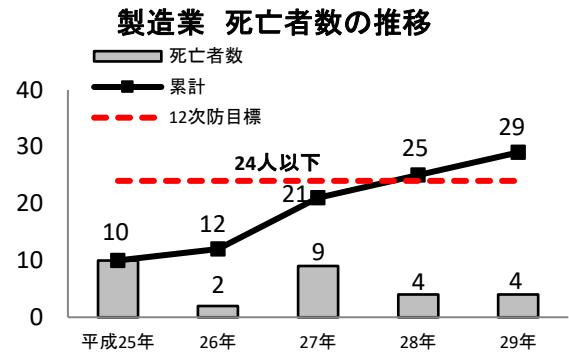
② 製造業

●死亡災害

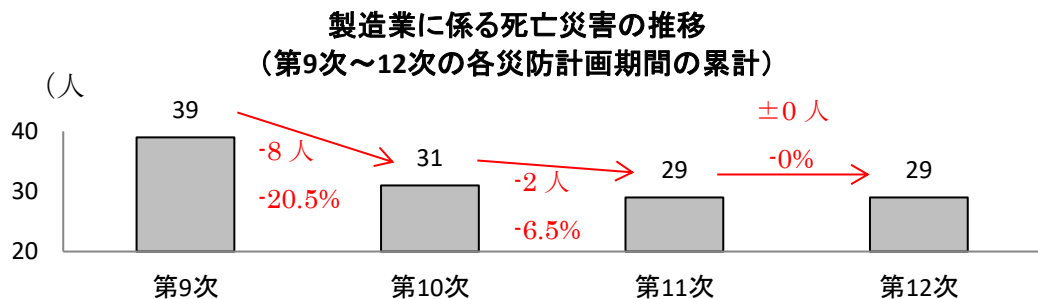
目標： 第 11 次計画期間の累計人数と比較して、第 12 次計画期間の累計人数を 20%以上減少させる。

※第 11 次計画期間 29 人→第 12 次計画期間 24 人以下

結果： 第 12 次計画期間の目標値は 24 人以下に対し 29 人、第 11 次計画期間と同数であり、20%以上減少させるとい目標は未達成。



なお、死亡災害について、第 9 次から 12 次までの 20 年間にわたる災防計画期間ごとの累計の推移をみると、第 9 次の 39 人であった死亡災害が第 12 次では 29 人と 25.6%減となっている。第 12 次は、第 11 次と同数に終わり、さらなる死亡災害撲滅に向けた対策を講じていく必要がある。

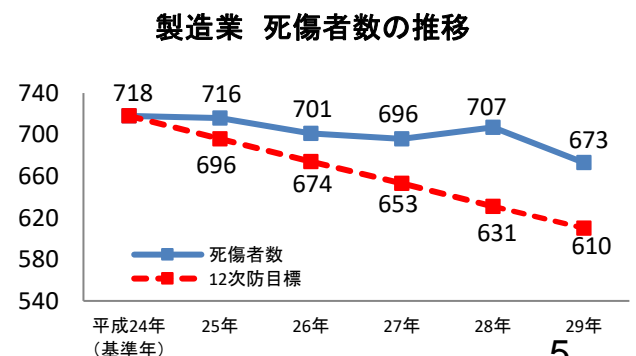


●死傷災害

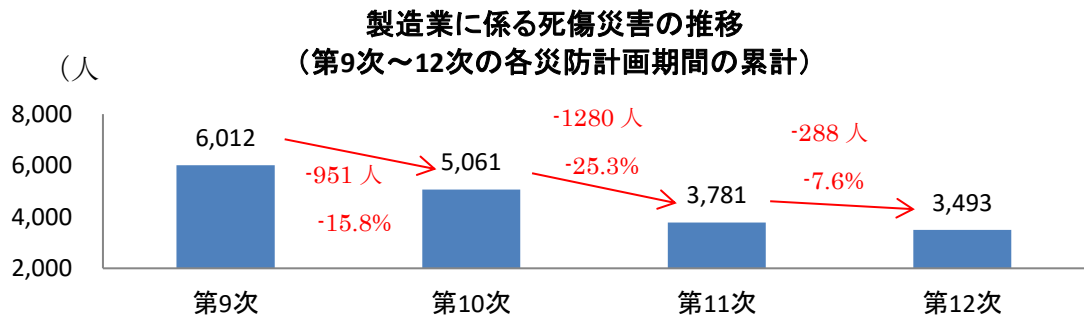
目標：平成 24 年と比較して、平成 29 年までに 15%以上減少させる。

※平成 24 年 718 人→平成 29 年 610 人以下

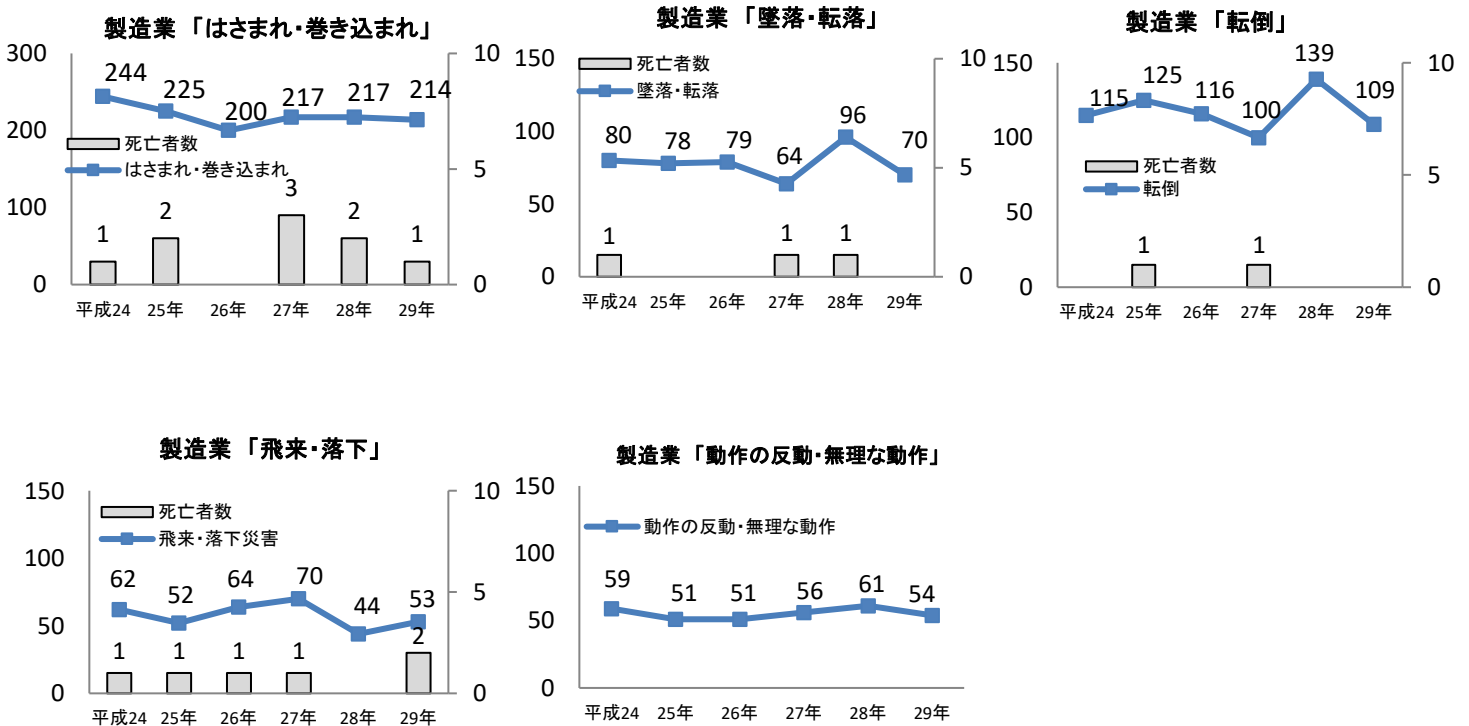
結果： 平成 29 年は 673 人となり平成 24 年と比較し 45 人の減少し、6.3%の減少に止まり、目標は未達成。



なお、死傷災害について、第9次から12次までの20年間にわたる防災計画期間ごとの累計の推移をみると、第9次の6,012人であった死傷者数が第12次では3,493人となり、2,519人の減少(41.9%減)となっている。また、第11次と比較すると第12次は288人の減少(7.6%減)となっており、減少幅が小さくなっている。



○主な「事故の型別」の労働災害発生の推移



③ 陸上貨物運送事業

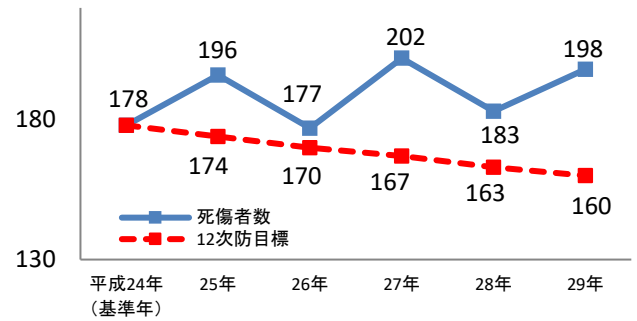
●死傷災害

目標：平成 29 年において、平成 24 年と比較し 10%以上減少させる。

※平成 24 年 178 人→平成 29 年 160 人以下

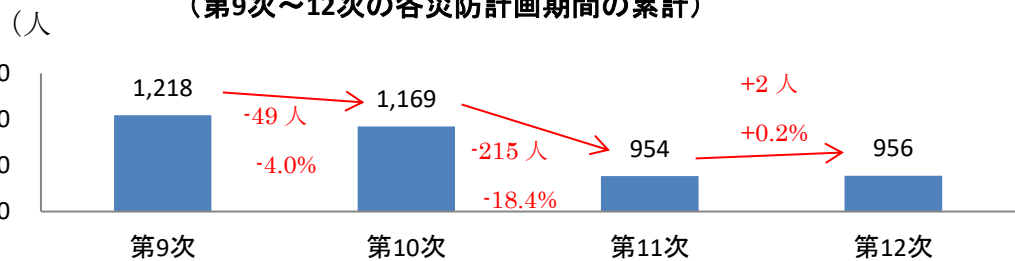
結果：平成 29 年は 198 人となり、平成 24 年と比較し 20 人の増加、11.2%の増加となり、目標は未達成。

陸上貨物運送事業 死傷者数の推移

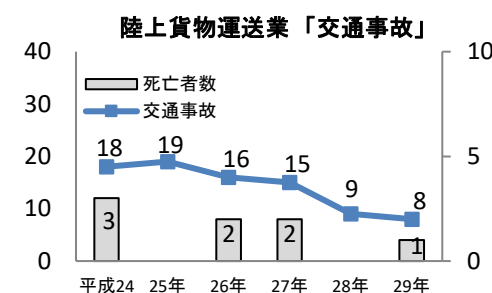
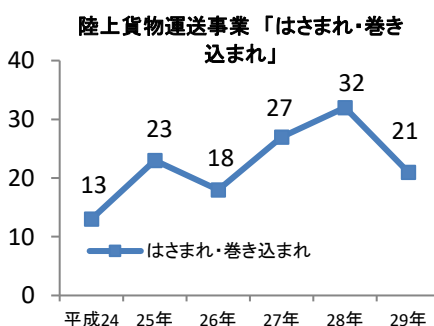
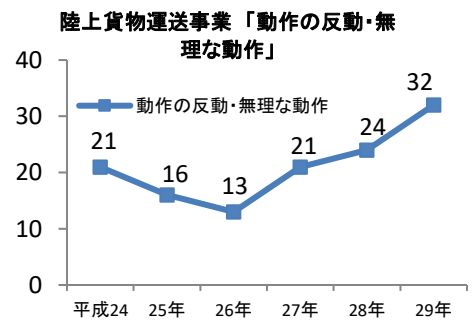
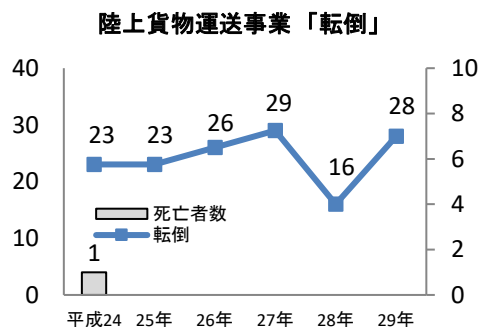
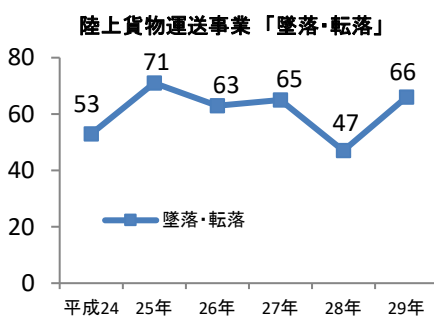


なお、死傷災害について、第 9 次から 12 次までの 20 年間にわたる災防計画期間ごとの累計の推移をみると、第 9 次の 1,218 人であった死傷者数が第 12 次では 956 人となり、262 人の減少 (21.5%減) となっている。同業種は、これまで減少傾向であったが、第 12 次は、第 11 次に比べ 2 人増となり増加に転じている。

道路貨物運送事業に係る死傷災害の推移 (第9次～12次の各災防計画期間の累計)



○主な「事故の型別」の労働災害発生数の推移



⑤ 第三次産業（小売業、社会福祉施設）

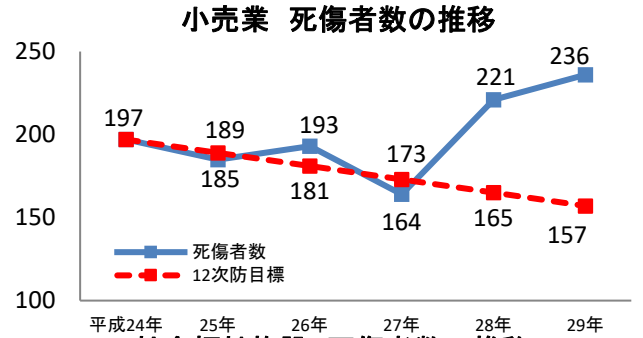
●死傷災害

目標：平成 24 年と比較して、平成 29 年までに小売業は 20%以上減少、社会福祉施設は 15%以上減少させる。

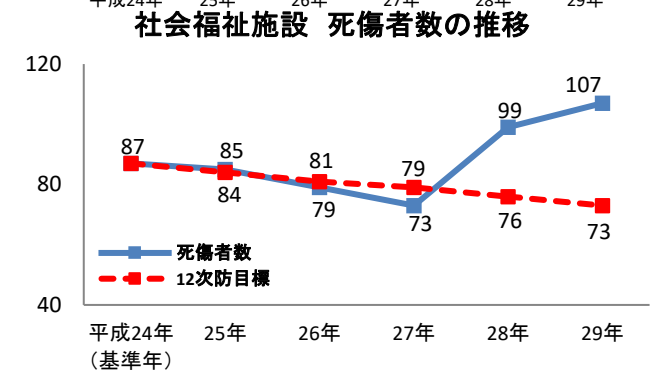
小売業 平成 24 年 197 人→平成 29 年 157 人以下

社会福祉施設 平成 24 年 87 人→平成 29 年 73 人以下

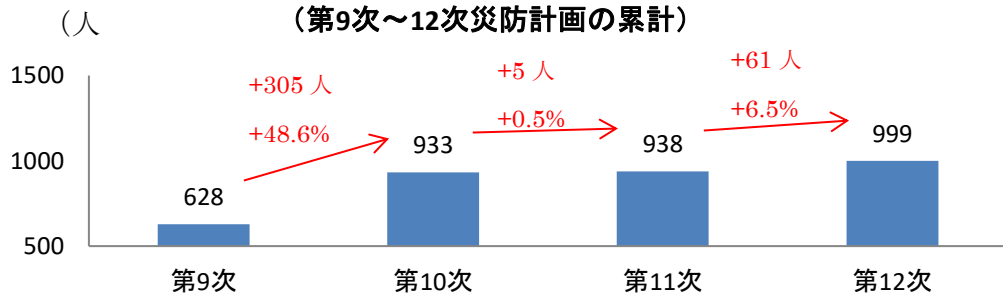
結果： 小売業については、平成 29 年が 236 人となり、平成 24 年と比べ 39 人、19.8%の増となっており、目標は未達成。



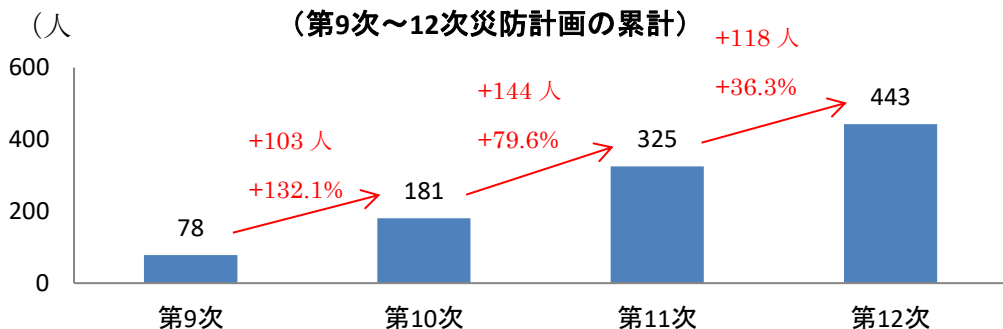
社会福祉施設については、平成 29 年が 107 人となり、平成 24 年と比べ 20 人、23.0%の増となっており、目標は未達成。



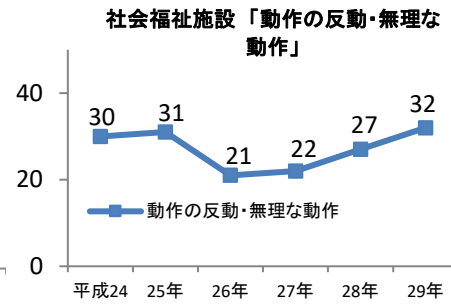
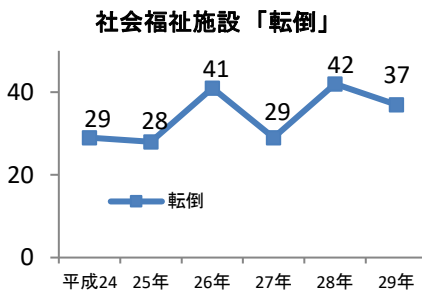
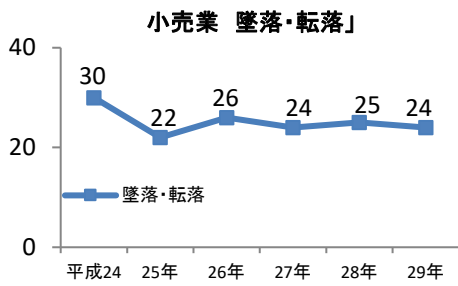
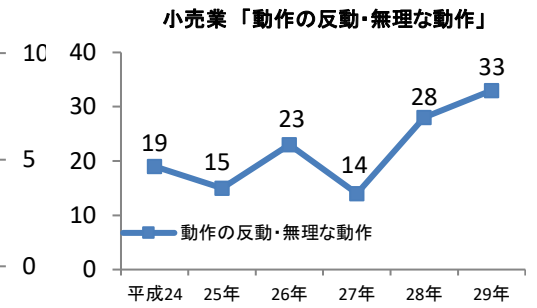
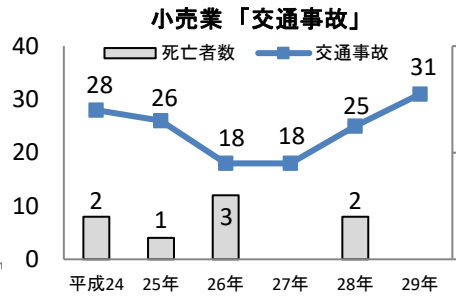
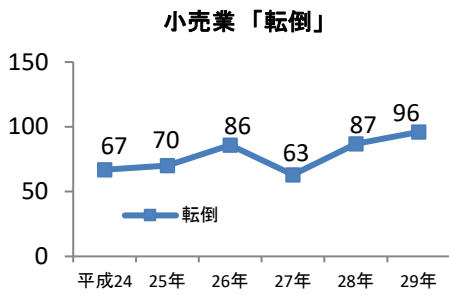
小売業に係る死傷災害の推移
(第9次～12次災防計画の累計)



社会福祉施設に係る死傷災害の推移
(第9次～12次災防計画の累計)



○主な「事故の型別」の労働災害発生の推移



(4) 職業性疾病対策関係

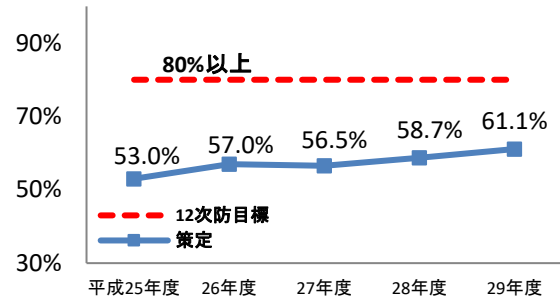
① メンタルヘルス対策

目標： 規模 50 人以上の事業場における心の健康づくり計画の策定事業場の割合を成 29 年度において 80%以上とする。

※平成 24 年度調査結果 46%→平成 29 年度調査結果 80%以上

結果： 毎年、確実に策定事業場の割合は大きくなっているが、平成 29 年度の調査結果は 61.1%で、目標である 80%以上には至らず、目標は未達成。

「心の健康づくり計画」策定している事業場の割合



② 腰痛予防対策

目標： 第 12 次計画期間における業務上の腰痛による休業 4 日以上之死傷者数の累計人数を、第 11 次計画期間の累計人数と比較して、10%以上減少させる。

※第 11 次計画期間 349 人→第 12 次計画期間 314 人以下

結果： 第 12 次の腰痛に係る死傷者数は、298 人で、目標達成。

腰痛 死傷者数10%以上減少

